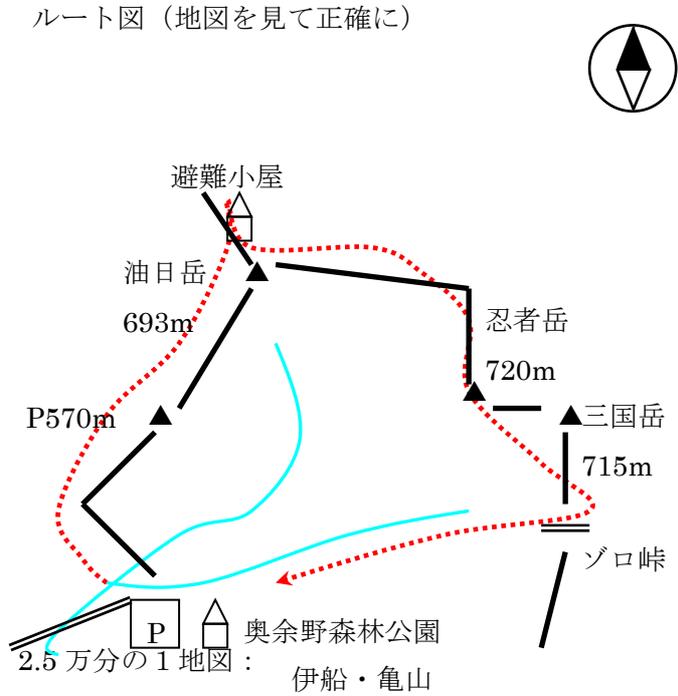


12月度例会 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL:亀山 誠 SL:天野 広 後藤 新 伊藤 昭雄 (部外)後藤 恵美子 中山 正夫(記) 6名
		報告日	1/14		
山 域	鈴鹿南部	山行日	14年 12月 21日(日)		
山 名	油日岳・忍者岳				
山行目的	初冬の鈴鹿南部の山を楽しむ		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者



12/21(日)晴れ  
7:00 5号館駐車場集合  
7:05 駐車場発  
8:20 奥余野森林公園着  
8:35 公園発  
9:15 P570m 通過  
9:55 油日岳頂上着  
10:10 頂上(避難小屋)発  
10:25 忍者岳通過  
10:40~:50 三国岳  
11:20 ズロ峠通過  
11:45 奥余野森林公園着  
12:00 公園発  
12:30 亀山市白鳥の湯  
13:40 白鳥の湯発  
15:30 5号館駐車場着

※1【672年壬申の乱】大化の改新で有名な天智天皇(中大兄皇子)の息子大友皇子と天智の同父母弟、大海人皇子(後の天武天皇)が皇位継承で争い、大海人皇子が勝利した乱であり、この道は大海人が大和の吉野から伊勢、美濃を回り近江の大津京を攻めた時のルートにあたる。(尚、天智と天武は額田王をめぐって恋のライバル関係でもあった)



三国岳

〈山行報告〉12/21(日) 前夜の雨も上がり晴天の中 7:05 デンソー本社 5号館東駐車場を亀山さんの車で出発、伊勢湾岸-東名阪高速道-名阪国道(25号)伊賀 IC-余野公園と走り、公園内の細い林道に入って行く。途中のガードレールに手書きの「※1 壬申の乱の古戦場」の文字あり。奥余野森林公園で伊藤さんと合流 8:20、山小屋風トレあり。ズロ峠方面には「壬申の乱大海人皇子、美濃への道」(上り)と、「源義経、平家追討の為の西国への道」(下り)の両方看板あり、古代から中世にはよく使われた間道らしい。8:35 公園から堰堤を飛び石で渡り右岸を歩きだす。指導標はあるが笹がのびて、ルートがはっきりしない、強引に斜面を登り尾根にでる。尾根にできればまずまずの道を急登、9:15 に P570 を通過し三馬谷からの分岐を越え、木を掴んでの激登りでやっと 9:55 油日岳頂上着、休憩なしで 1 時間 20 分歩いたことになる。頂上は樹林の中で油日神社の岳大明神奥宮がある、北側の尾根を少し下り避難小屋で休憩する。北側が開けて甲賀市、琵琶湖方面の展望よし。10:10 頂上に戻り東に向う、小ピークの加茂岳を越え次のピークで地図を確認し真南に方向を変えて、忍者岳に向う分岐があり、縦走路から忍者岳ピークは外れているので、往復しようと話し合ったが数歩で忍者岳に到着し一同拍子抜けする。忍者-三国岳間はネット(望油峠)で設置ロープ 多数あり。三国岳 10:40 着、記念撮影し不鳥越峠に下る。倉部山を通過し東海自然歩道のズロ峠から霞溪に下っていくが観光バスの不動滝見学ツアー団体 40 人に出合い登り優先通過待ち。11:45 公園着、亀山市の白鳥の湯で汗を流し、5号館駐車場 15:30 着、解散。

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード

忍者岳  
フィックスロープも冷えてあり

寒風や帽子目深に息とめる

不鳥越木枯らしだけが抜けてゆく  
沖仙

紫草のほへる妹を憎くあらば  
大海人皇子

人妻ゆえに吾恋ひめやも

確認  
(リーダー)  
亀山  
14/12/25

作成  
(報告者)  
中山  
14/12/22

〈リーダー所見〉鈴鹿南部の山パート1で「仙ヶ岳」、パート2で「鬼ヶ牙・白杵岳」そして、今回パート3で「油日岳・忍者岳」、鈴鹿中北部の山はよく出かけて来たが、南部は初でありいずれも新鮮で、低山だが自然豊富で変化に富み、ワクワと山歩きを楽しませてくれる。那須ヶ原山-高畑山の縦走も面白そうである♪